

株式会社 ファミリーマート 御中

タイ王国

バンコクにおける子どもたちの防災意識向上プログラム
～都市部の災害リスク軽減のために～

四半期報告書(2014年10月～12月)



2015年1月30日

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
海外事業部



1. 事業概要

事業名	バンコクにおける子どもたちの防災意識向上プログラム ～都市部の災害リスク軽減のために～
対象国・地域	タイ王国バンコク首都圏、ノンタブリー県、パトゥムターニー県
事業期間	2014年4月1日～2015年3月31日
報告期間	2014年10月1日～2014年12月31日
予算	10,000,000円
事業目的	自然災害において深刻な被害を受ける可能性の高いタイ首都バンコク周辺において、コミュニティを巻き込んだ子どもたちの防災意識向上と災害への適応能力の強化を図る

2. 事業進捗の概要

2014年10月から12月までの活動を、以下の通りご報告させていただきます。

① コミュニティベースの防火対策

前回の報告書でご報告の通り、コミュニティでは最大の災害リスクが「火事」であることが確認されたため、その後各コミュニティで防火対策のための戦略を策定しました。この戦略の中での主要な活動は、防火研修(消火器で火を消す方法を学ぶ研修)と避難訓練です。本期間中には、以下の3つのコミュニティが県やバンコク都庁(Bangkok Metropolitan Administration)の協力のもと防火訓練を行い、合計238名が参加しました。この訓練は、理論と実践の両面から参加者の理解と対応力を向上させるように作られており、理論では火災が起きる仕組みや原因、基本的な避難の仕方等を、実践では実際に消火器を使って火を消す方法を参加者が学びました。

実施日程	コミュニティ	場所	裨益者		
			男性	女性	合計
2014年10月19日	ノンタブリー州 パックレット地区、Bang Talad Pattana2,	ノンタブリー州、パックレット地区、灌漑局のミーティングホール	55	49	104
2014年11月23日	ノンタブリー州 パックレット地区、 Ruamjai9,	ノンタブリー州、パックレット地区、消防署	23	49	72
2014年12月14日	バンコク首都圏 ドンムアン地区、Prom Sumrit Community,	バンコク首都圏、ドンムアン地区、Prom Sumrit Community,	23	39	62

② コミュニティの避難訓練計画の立案

上記の避難訓練の後、各コミュニティの委員会は、パックレット地区とバンコク都庁の協力のもと、それぞれのコミュニティにおける防火避難訓練計画を立案しました。これらの計画案の作成は、Prom Sumrit コミュニティではドンムアン地区の消防署からの技術的サポート、Pak Kred Ruamjai9 コミュニティはセーブ・ザ・チルドレンとパートナーNGO の協力を得て行われました。

③ コミュニティにおける防災意識向上のための子どもグループの活動

パックレット地区では、コミュニティの人々の防災意識を向上するため、セーブ・ザ・チルドレンのパートナーNGO である Youth Network Development (YND) が 10 月と 12 月に子どもたちのワークショップを実施し、子どもグループが主導となって、防災や防火のためのポスターやパンフレットを作成しました。これらの素材は 2015 年 1 月以降、コミュニティの人々に配布される予定です。ドンムアン地区でも同じようなワークショップが開催され、7 月の防災キャンプに参加した子どもたちが参加しました。

④ 学校主体の防火対策

更に学校ベースの活動としては、YND が、パトゥムターニー州ランシット県の Duang Kamol 学校で 10 月 15 日にリスクアセスメントワークショップを開催しました。教師や校長、学校のスタッフが参加したこのワークショップでは、学校における最も大きな災害リスクも「火事」であることがわかりました。そこで、教師や生徒の防災能力を向上させるための学校ベースの防火対策計画が作成され、その計画に基づいて、11 月 11 日に Duang Kamol 学校で防火訓練と応急処置の訓練が行われ、教師や生徒など合計 319 人が訓練に参加しました。

⑤ 子どもたちの防災アイデアコンテスト

当初 2015 年 1 月に予定していた防災アイデアコンテストについては、子どもたちからの応募数が少なかったことから応募期限を延長し、2 月に開催する予定です。10 月より 10 歳～12 歳、13 歳～15 歳の子どもたちへ防災アイデアを募集し、これまで 22 人(男児 14 人、女児 8 人)の子どもたちから応募がありました。コンテストでは、アイデアを模型にしたものを提出してもらい、特に優秀な作品が発表される予定です。

2 月のコンテストの結果発表に先立ち、応募のあったアイデアを精査してよりよいものにするため、12 月 20 日と 21 日の二日間、子どもたちのワークショップを開催しました。ワークショップには、モンクット王工科大学電気工学部教授、タイの民間テレビ局 PBS スタッフ、アジア防災センター職員、デザイナー、建築家、ラッフルズ・インターナショナル・カレッジの教授が協力者として参加し、自らの災害時の経験を語るとともに、子どもたちにアドバイスを提供しました。ワークショップはバンコク芸術文化センターで開かれ、子どもたち 15 人(男児 10 人、女児 5 人)が参加し、6 つのグループに分かれて作業を行いました。

⑥ アドボカシー

セーブ・ザ・チルドレンは、アセアン防災・緊急対応協定(ASEAN Agreement on Disaster Management

and Emergency Response)の他メンバーと協力し、10月12日の「国際防災の日」にバンコク、パトゥムワン区にあるルンピニー公園において、防災展示会を行いました。このイベントでは、特にコミュニティに住む高齢者の人々が防災に対する意識を高めることを目的とし、セーブ・ザ・チルドレンは昨年の事業で作成したモグラの絵本「Alert Little Tun」を配布したり、防災バッグを展示したりしました。

またセーブ・ザ・チルドレンだけでなく、プランインターナショナルやワールドビジョン、ユニセフ、Right To Play、Raks Thaiなどの団体で構成される学校安全ネットワークのメンバーは、10月7日と11月12日に会議を行い、学校安全ネットワークでできることや各自の役割などを話し合いました。2015年2月には教育省とこの学校安全ネットワークの協働で、「学校安全エキスポ」(National Safety School Expo)を開催することが決定しています。来年度のセーブ・ザ・チルドレンのタイにおける防災事業では、ユニセフと協働で子どもたちにとって安心・安全な学校作りに取り組んでいく予定です。

3. 認知度の向上に向けた取り組み

これまでに引き続き、イベントのバナーや活動で配布する配布物など、様々な部分で御社のロゴを使用させていただき、認知度の向上のために取り組んでおります。今期は特に、これまで配布してきた絵本やカードゲーム、ハンカチなどを更に複製して、イベントの参加者などに配布しました。

No	配布物	個数
1	絵本	2,137
2	カードゲーム	670
3	ハンカチ	131
4	教師向けハンドブック	4
	合計	2,942

4. 活動写真



10月19日に行われた防火訓練の様子。講義(左)と消火器を使った実践(右)の様子



10月15日の学校ベースのリスクアセスメント



学校で行われた応急処置訓練の様子



10月12日の「国際防災の日」のイベント



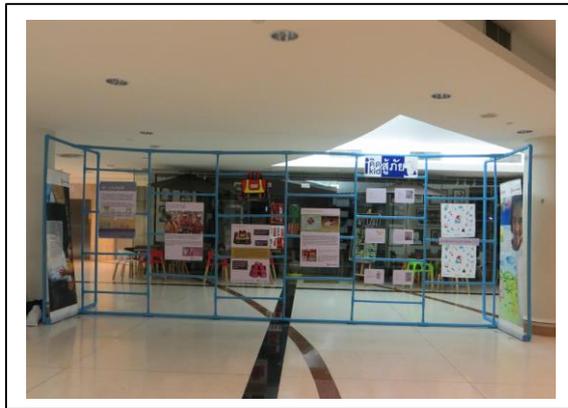
コミュニティの人々にも絵本を配布した



防災アイデアコンテストのワークショップ



アドバイスをもらって防災のアイデアを出す子どもたち



防災アイデアコンテストのためバンコク芸術文化センターに展示中の防災教材



以上